

令和7年度【2025年度】

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

園庭や散歩先で石に興味を示す子が多い。拾った際には色や大きさ、模様などに疑問を抱く姿があった。園の近くには多摩川が流れていて、散歩にもよく行く。多摩川の土手でも様々な形の石を拾って楽しむ姿があった。

2. 活動スケジュール

- 1、散歩で行ける範囲の川の上流に行き、石を拾う。
- 2、持ち帰ったお気に入りの石を洗い、観察する。
- 3、耐水ペーパー、やすり、雑巾などを使用して磨きたい子は磨く。
- 4、石についての疑問を募る。
- 5、iPadを使用して、全体で石について調べる。
- 6、歩いて行ける範囲での下流にiPadを持ち行き、写真を撮る。
- 7、撮った写真と前に持って帰った石の違いを観察する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

・iPad ・耐水ペーパー ・雑巾 ・やすり ・石の図鑑 ・とった石を入れる袋 ・ホワイトボード
散歩先や園庭での様子を観察。石への興味から図鑑をクラス内本棚に置いておく。「きれいな石が見つけた！」という子どもの声から、朝の会や帰り見つけた石を見せてもらう。他児の「すごい!」「いいなあ」という声から上流へ散歩に行く。「つるつるできれいな石はなんでだろう」の声から、耐水ペーパーなど一式を準備。拾ったお気に入りの石を保護者にも見てもらいたいことから、袋に入れ、クラス内に飾る。石についての疑問を会で聞き、見えるようにホワイトボードに書いて室内に掲示する。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・ 散歩で多摩川土手へ行き、20分間お気に入りの石を探す。
 - ・ 持ち帰った石を洗う。
- ・ 石をテーブルに置き、それぞれが拾った石を見合う。
- ・ 磨きたい子はやすり、耐水ペーパーを使い研磨する。
 - ・ 帰りの会で石についての疑問を募る。
- ・ iPadを使用し、質問に対しての情報を共有する。
- ・ 上流、下流の石の大きさの違いに気が付き、下流の方へ石を探しに行く。
 - ・ 20分間探し、見つけた石をiPadで写真を撮る。
 - ・ 撮った写真をiPadで共有し、模様や大きさなどを確認する。
- ・ 紙粘土に石を詰め、オブジェを作る。お気に入りの石を持ち帰る。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・ 園庭で透明の石を見つけ保育者に「きれい」と見せに来る。
- ・ 多摩川では「しましま！」や「これむらさきいろだよ」など模様や形について見ていた。
- ・ たまたま落とした石の音が高かったことから、「このいしおとがちがうよ」と保育者と一緒に様々な石を叩いて音を奏でる。
- ・ 写真を撮った際はグループごとの活動で他グループの写真は見ていなかったことから、「にてる！」「こんないしあったの？」と子ども同士の会話が盛り上がる。
- ・ 「この前行ったところよりも（上流）、今回の方が石少し小さいのが多いね」と学んだ削られる過程についても理解をしていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

園庭での子どものふとした一言から発展させていくことができた。最初は少人数での興味だったが、朝の会や帰りの会などを活用し環境を整えることでクラス全体への興味へと広がった。全体で共有するときも全体でプロジェクターを見るときとなかなか意識が向かない子も、少人数のグループでiPadを囲むことで、長い時間活動に参加することができた。テーマを絞り、深めていくことで幼児期の子どもたちでもより深い知識を身につけることができていた。関わる大人自体もあまり詳しい人がいなかったことから、子どもとともに楽しみ、考え関わっていくことができる時間にもなった。ITの活用と実体験、すくわくプログラムから子どもたちの活動の充実を感じることができ、子どもたちの興味はすぐ近くにあることを改めて実感することができた。